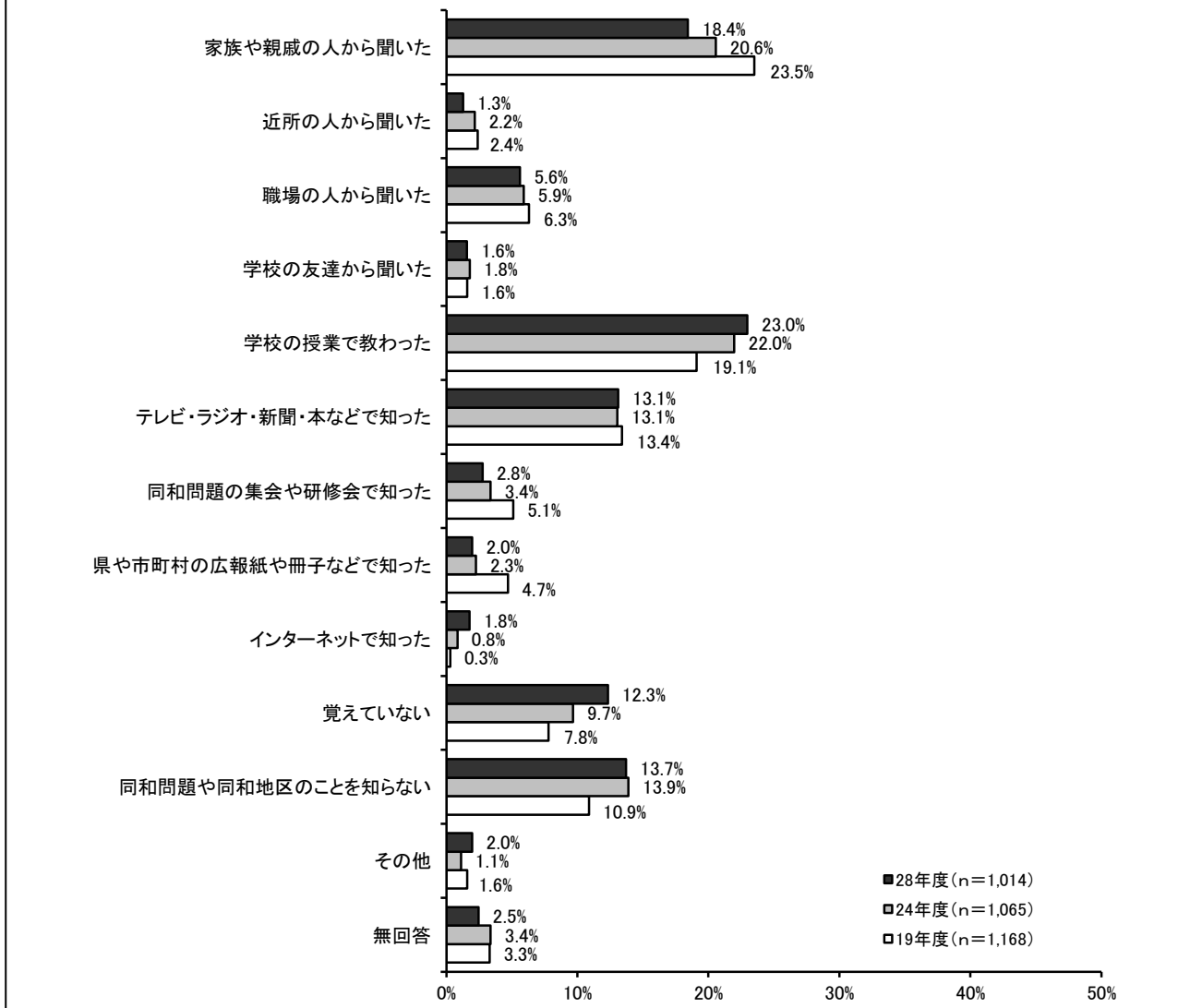


### 3-6 同和問題について

#### (1) 同和問題や同和地区について、はじめて知ったきっかけ

問15 あなたが同和問題や同和地区について、はじめて知ったきっかけは何ですか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

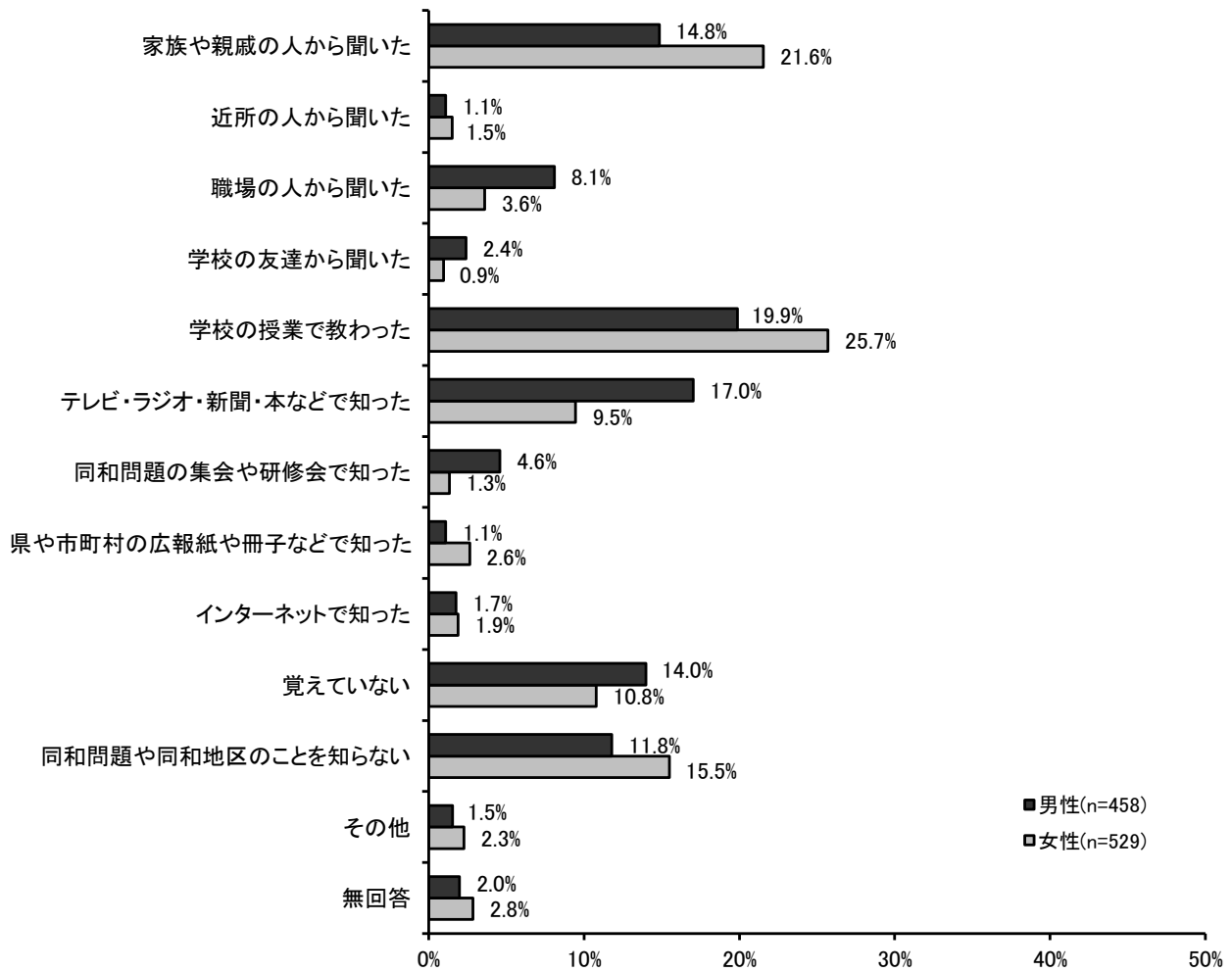


■「学校の授業で教わった」が23.0%で最も高く、次いで「家族や親戚の人から聞いた」が18.4%、「同和問題や同和地区のことを知らない」が13.7%の順となっている。

#### 【前回・前々回比較】

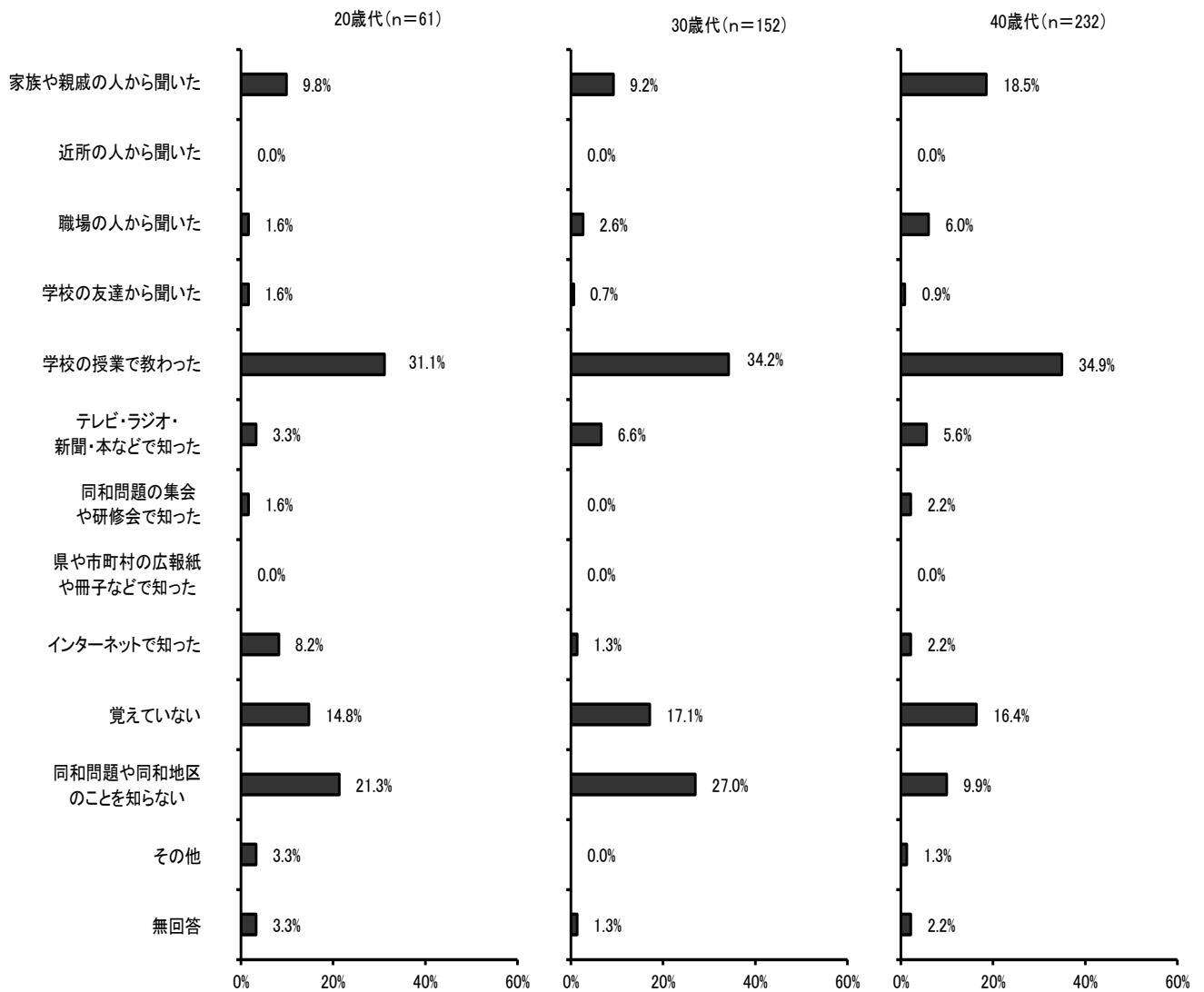
■「家族や親戚の人から聞いた」は前回より2.2ポイント、前々回より5.1ポイント減少しており、「覚えていない」は前回より2.6ポイント、前々回より4.5ポイント増加している。

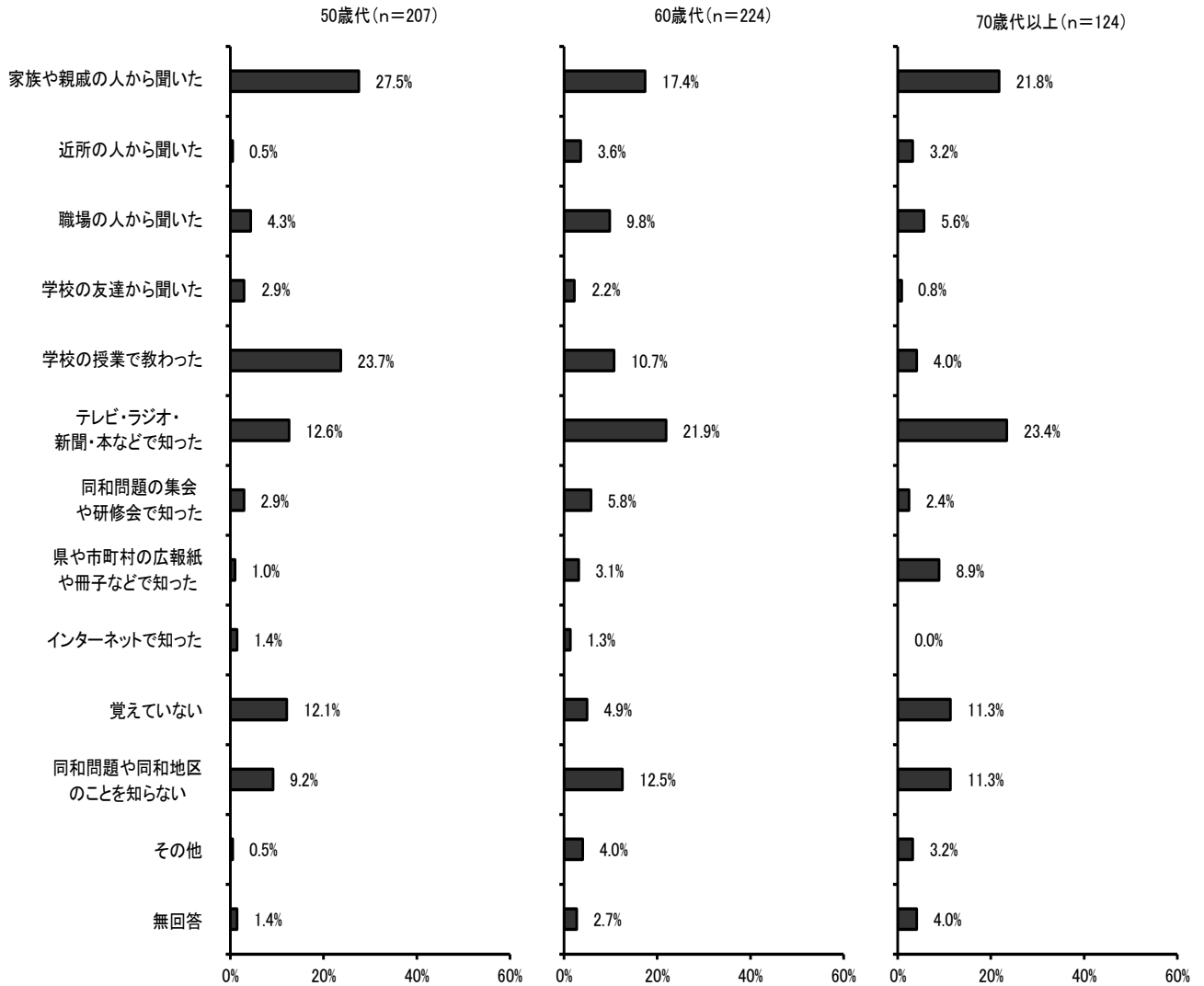
## 男女別



- 女性では、「家族や親戚の人から聞いた」「学校の授業で教わった」の割合が高く、男性では「職場の人から聞いた」「テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った」の割合が、やや高くなっている。
- 「テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った」は女性より男性の方が7.5ポイント高くなっている。

# 年代別



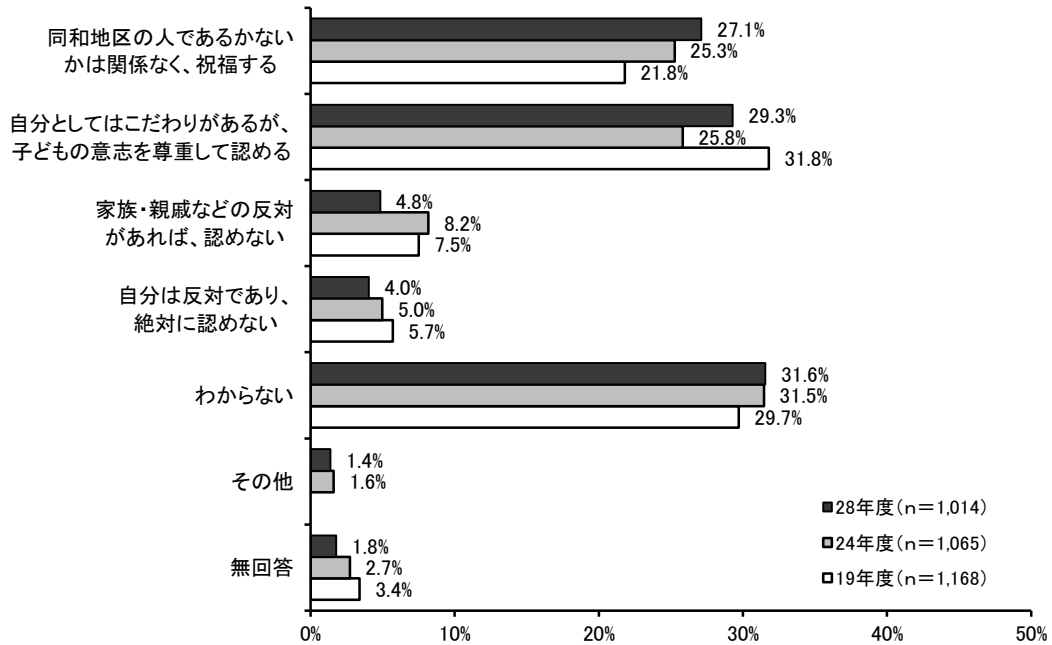


■「テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った」の割合は、年代が上がるにつれて、「学校の授業で教わった」の割合は、若い年代ほど高くなる傾向がみられる。

■「同和問題や同和地区のことを知らない」は、20～30歳代がいずれの年代よりも高くなっている。

## (2) 自分の子どもが同和地区出身の人と結婚すると知ったときの対応

問16 あなたのお子さんが（いらっしゃらない場合は、いると仮定してお考えください）、同和地区出身の人と結婚するとしたら、あなたはどうしますか。あなたの気持ちにいちばん近いものを次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

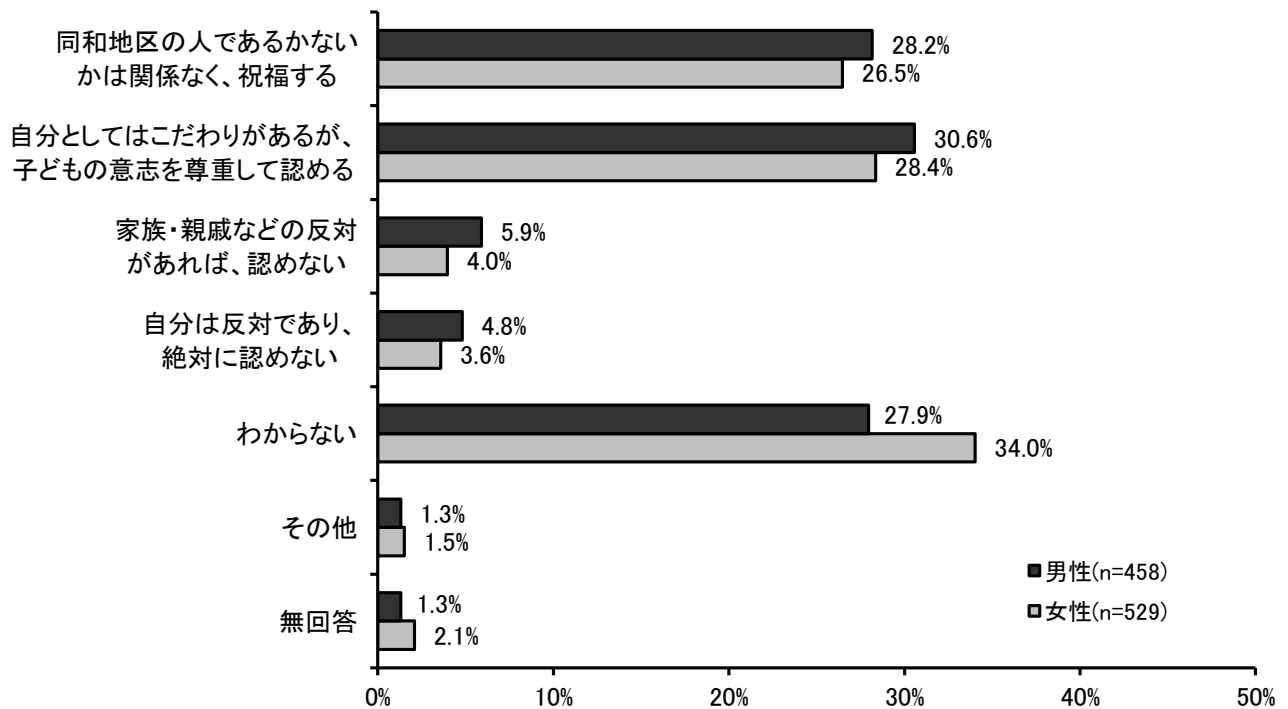


- 「同和地区の人であるかないかは関係なく、祝福する」という“積極的な賛成”は27.1%、「自分としてはこだわりがあるが、子どもの意志を尊重して認める」という“消極的な賛成”は29.3%で、“賛成”は56.4%と過半数を占めている。
- 一方で「家族・親戚などの反対があれば、認めない」「自分は反対であり、絶対に認めない」という“反対”は8.8%であった。
- 「わからない」は31.6%と最も高くなっている。

### 【前回・前々回比較】

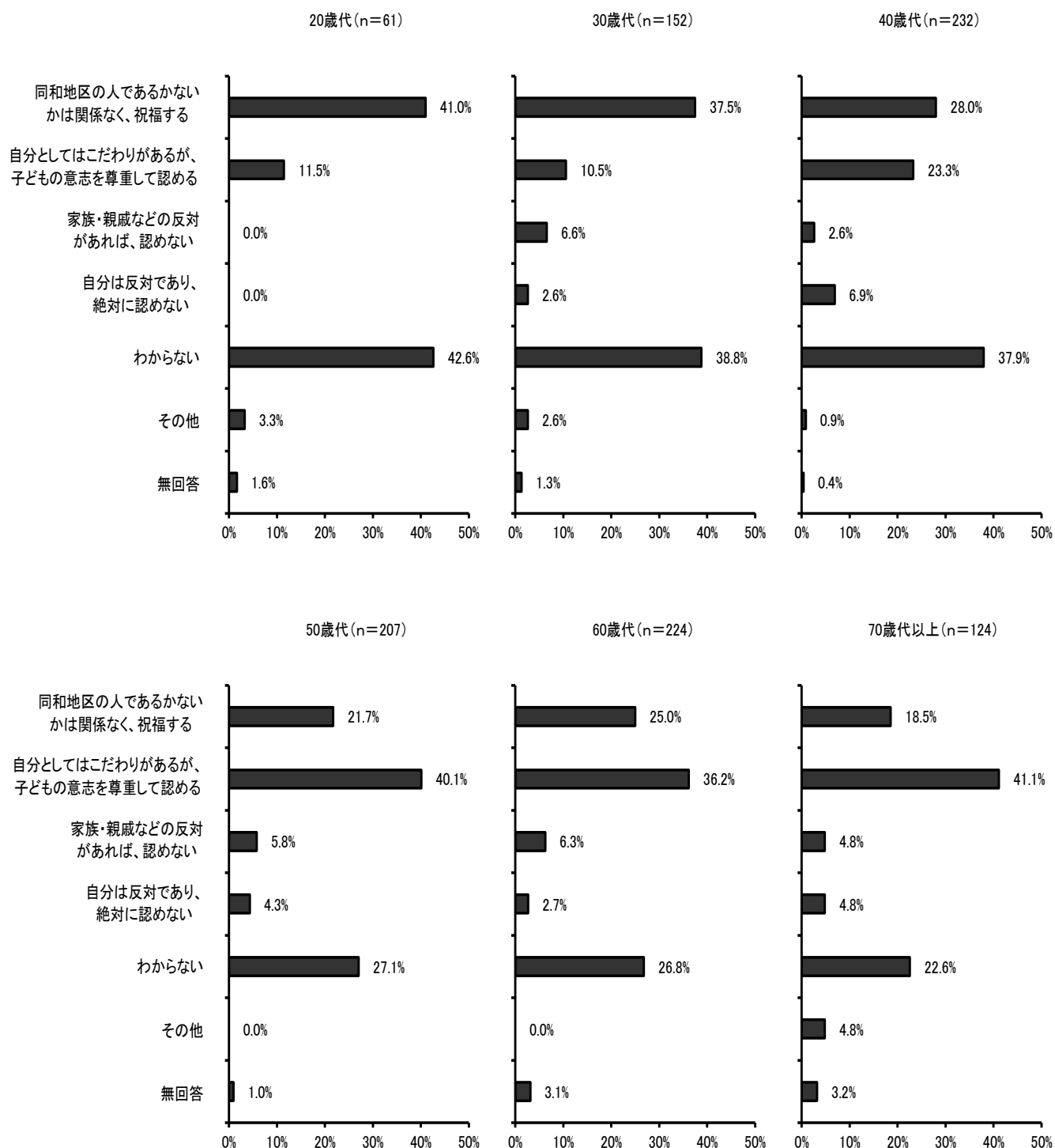
- 「同和地区の人であるかないかは関係なく、祝福する」は前回より1.8ポイント、「自分としてはこだわりがあるが、子どもの意志を尊重して認める」は3.5ポイント増加している。“賛成”は前回の51.1%より5.3ポイント増加している。
- 「家族・親戚などの反対があれば、認めない」は前回より3.4ポイント、「自分は反対であり、絶対に認めない」は1.0ポイント減少している。“反対”は前回の13.2%より4.4ポイント減少している。

## 男女別



- 男女共に「自分としてはこだわりがあるが、子どもの意志を尊重して認める」が高く、次いで「同和地区の人であるかないかは関係なく、祝福する」の順となっている。
- 男性の割合がやや高くなっている項目が多く、「自分としてはこだわりがあるが、子どもの意志を尊重して認める」は、2.2ポイント高くなっている。
- 「わからない」の割合は女性が高く、3割を超えている。

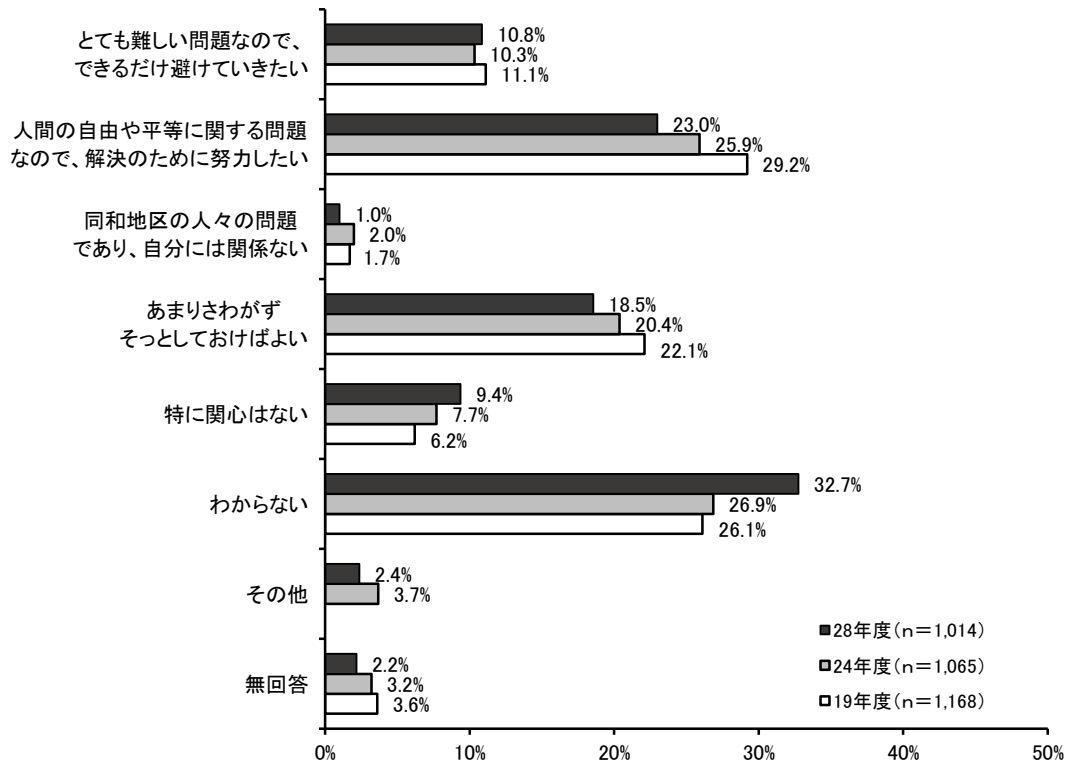
## 年代別



- 「同和地区の人であるかないかは関係なく、祝福する」の割合は若い年代ほど高く、20歳代で4割を超えている。
- 「自分としてはこだわりがあるが、子どもの意志を尊重して認める」の割合は、年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。
- 「自分は反対であり、絶対に認めない」は、40歳代がいずれの年代より高くなっている。

### (3) 同和問題についての考え

問17 同和問題について、あなたはどのように考えますか。あなたの考え方にいちばん近いものを次の中から1つだけ選んで○をつけてください。



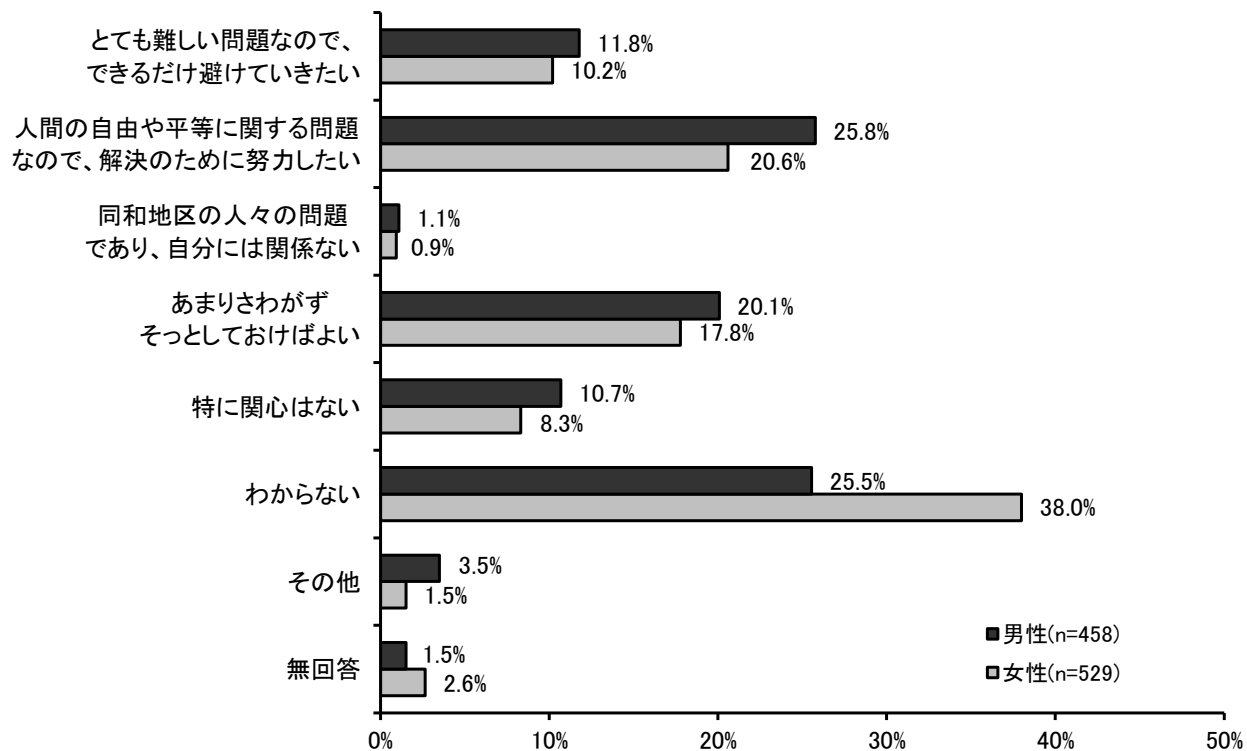
- 「人間の自由や平等に関する問題なので、解決のために努力したい」が23.0%と高く、次いで「あまりさわがずそっとしておけばよい」が18.5%、「とても難しい問題なので、できるだけ避けていきたい」が10.8%の順となっている。
- 「わからない」は32.7%と最も高くなっている。

#### 【前回・前々回比較】

- 「人間の自由や平等に関する問題なので、解決のために努力したい」は前回の25.9%より2.9ポイント、前々回の29.2%より6.2ポイント減少している。
- 「わからない」は前回の26.9%より5.8ポイント、「特に関心はない」は前回の7.7%より1.7ポイント増加している。

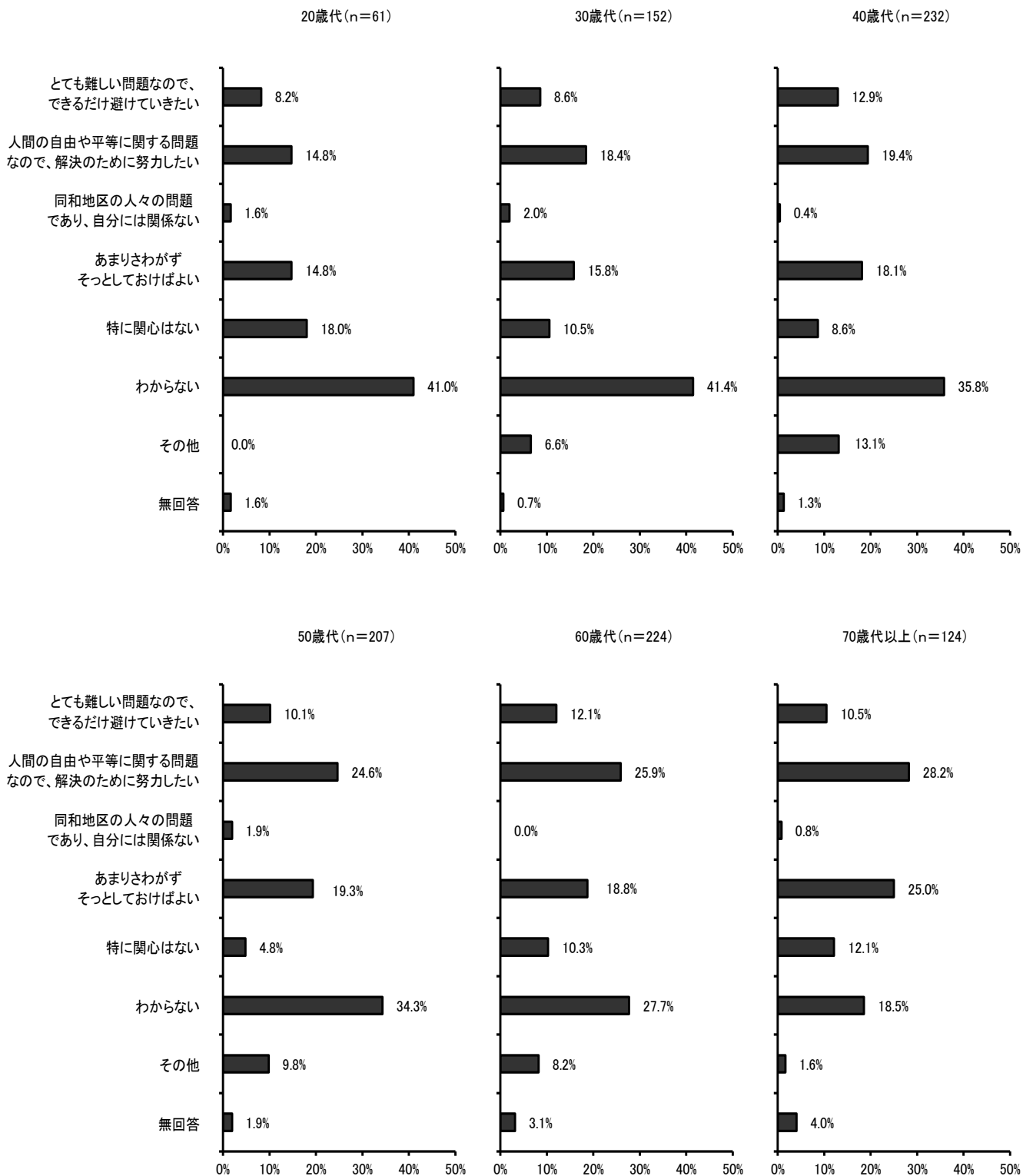


## 男女別



- 「人間の自由や平等に関する問題なので、解決のために努力したい」の割合は、女性より男性が5.2ポイント高くなっており、「とても難しい問題なので、できるだけ避けていきたい」「あまりさわがずそっとしておけばよい」「特に興味はない」の割合も、男性がやや高くなっている。
- 「わからない」は女性の割合が、約4割と高くなっている。

## 年代別

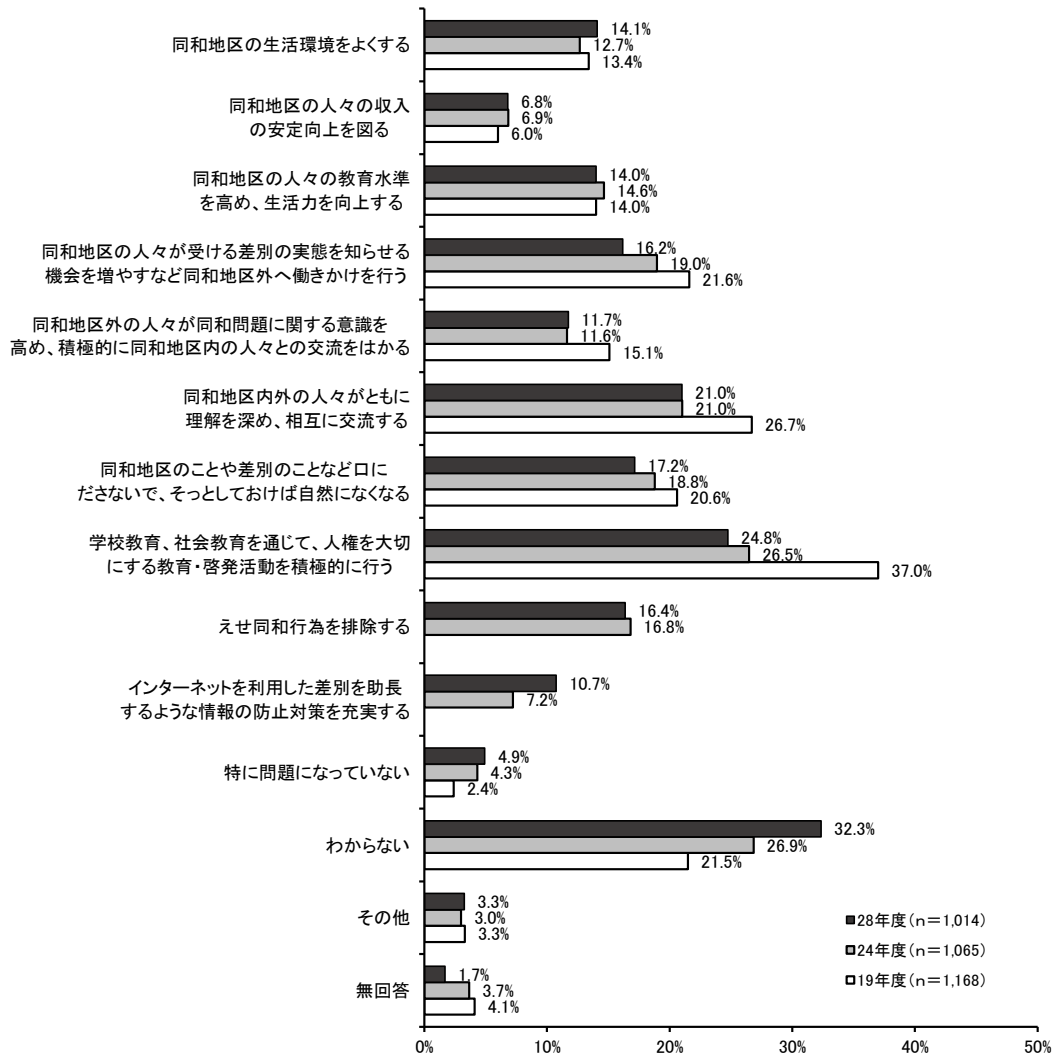


■ 「人間の自由や平等に関する問題なので、解決のために努力したい」の割合は、年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。

■ 「わからない」の割合は若い年代ほど高く、20～30歳代で4割を超えている。

#### (4) 同和問題を解決する方法

問18 同和問題を解決するためには、どうしたらよいとお考えですか。重要だと思ふものを次の中から3つまで選んで○をつけてください。



■「学校教育、社会教育を通じて、人権を大切にする教育・啓発活動を積極的に行う」が24.8%と高く、次いで「同和地区内外の人々がともに理解を深め、相互に交流する」が21.0%、「同和地区のことや差別のことなど口に出さないうで、そっとしておけば自然になくなる」が17.2%の順となっている。

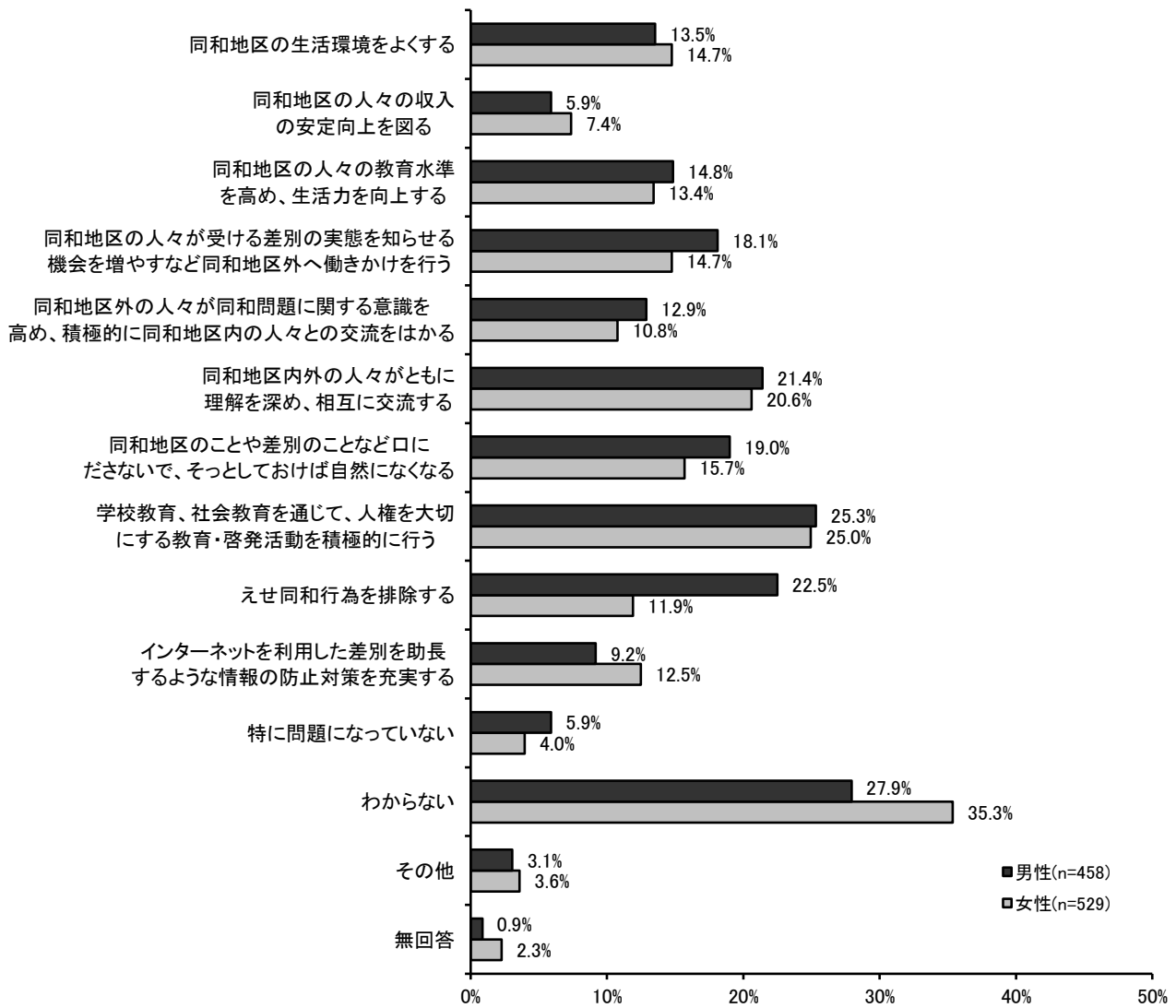
■「わからない」は32.3%と最も高くなっている。

#### 【前回・前々回比較】

■「インターネットを利用した差別を助長するような情報の防止対策を充実する」は前回の7.2%より3.5ポイント増加しており、「学校教育、社会教育を通じて、人権を大切にする教育・啓発活動を積極的に行う」は前々回の37.0%より12.2ポイント減少している。

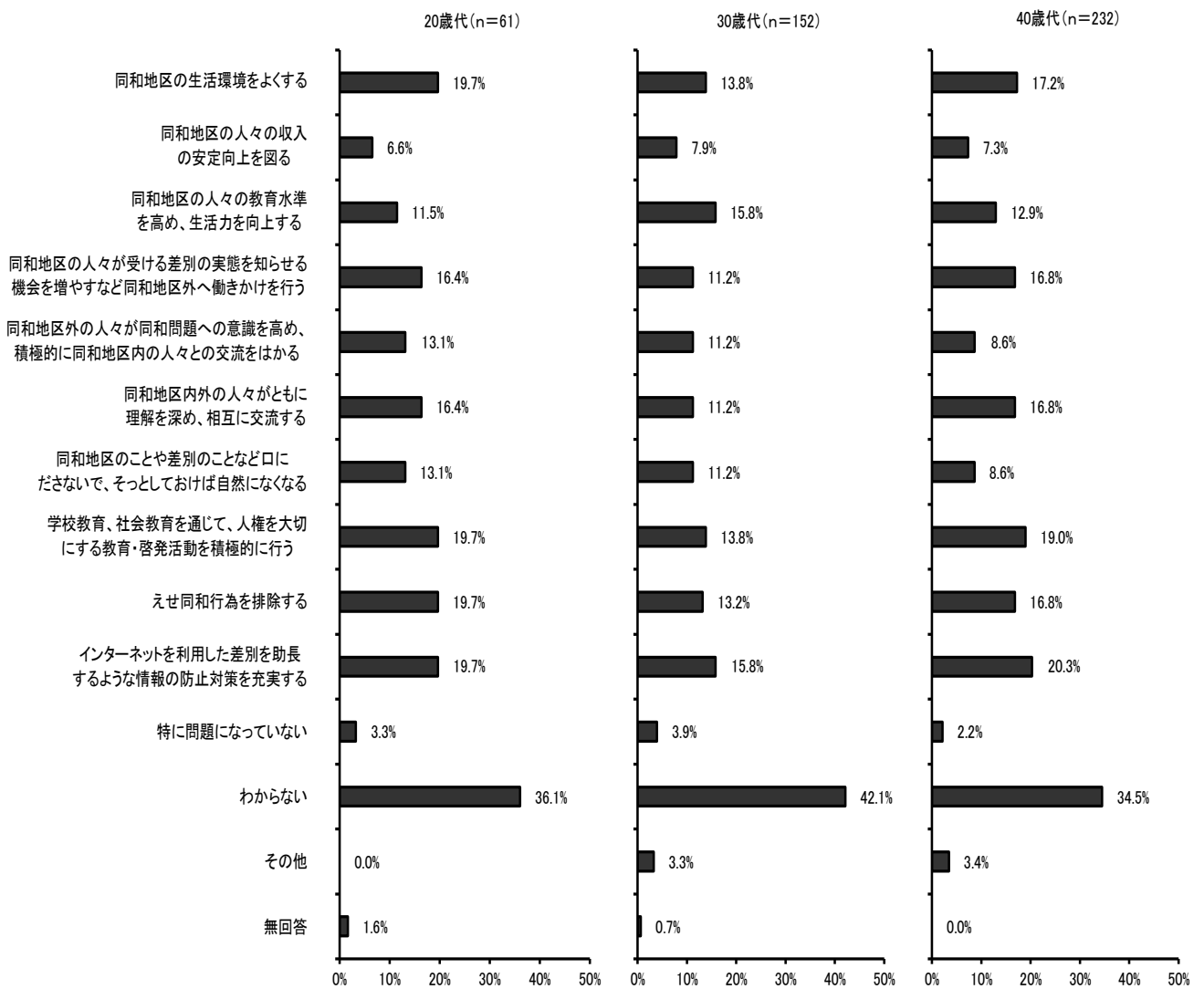
※「えせ同和行為を排除する」「インターネットを利用した差別を助長するような情報の防止対策を充実する」の選択肢を追加したため、正確な比較はできない。

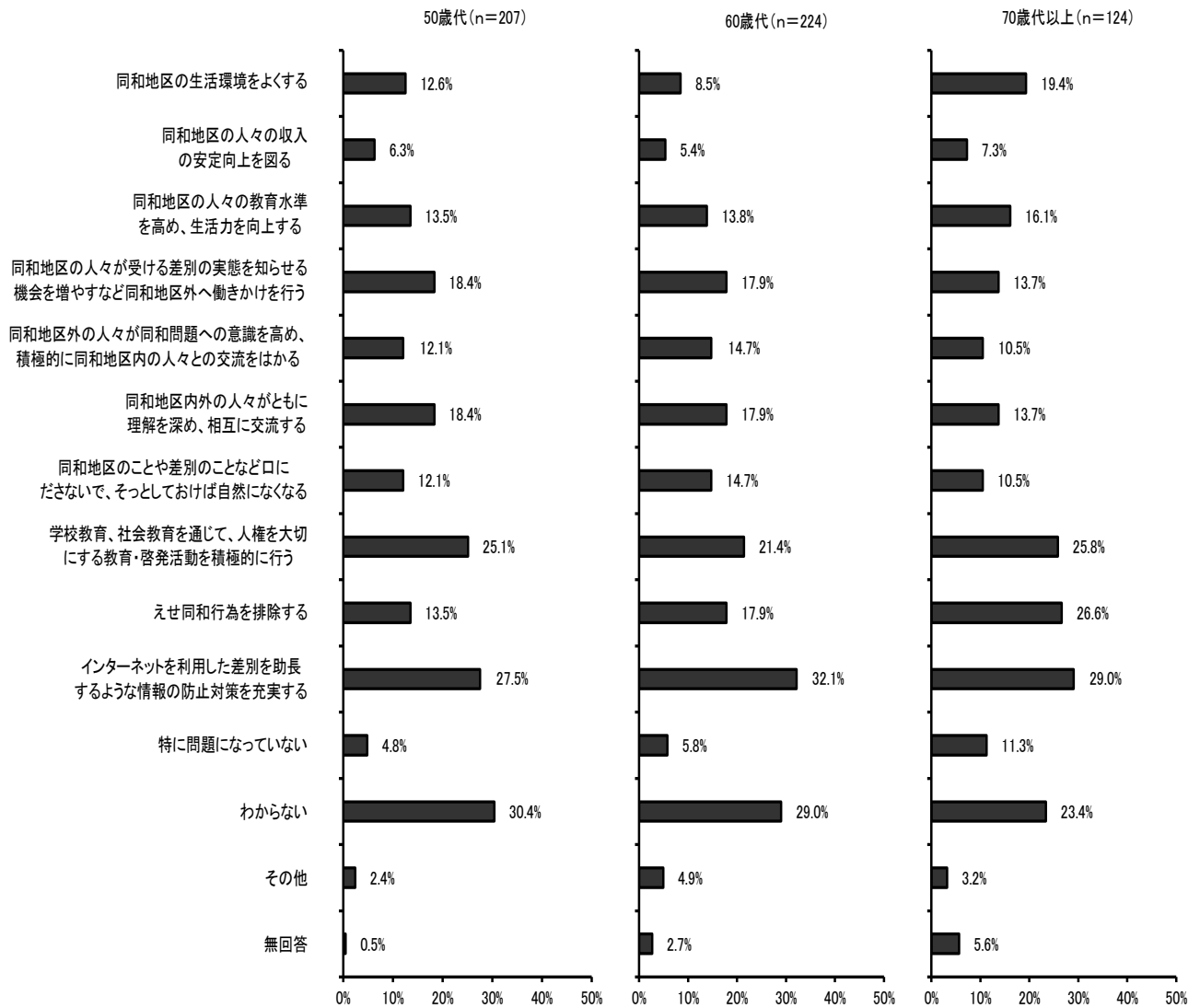
男女別



■「えせ同和行為を排除する」の割合は、女性の11.9%より男性の22.5%が10.6ポイント、「わからない」の割合は、男性の27.9%より女性の35.3%が7.4ポイント高くなっている。

年代別





■ 「インターネットを利用した差別を助長するような情報の防止対策を充実する」の割合は、年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。

■ 「わからない」は、若い年代ほど高くなる傾向がみられる。